

請 願 文 書 表

受理年月日	平成22年6月28日	請 願 者	近江八幡市若葉町5-1871-11 新日本婦人の会 近江八幡支部 事務局長 竹本 キク子
受理番号	請願第 5 号		近江八幡市安土町常楽寺633 新日本婦人の会 安土支部 支部長 水 富子
請 願 件 名	ヒブワクチンの公費助成を求める請願書		
請 願 要 旨	<p>【請願趣旨】</p> <p>細菌性髄膜炎は毎年約600人もの乳幼児がかかる病気で、初期には発熱以外に特別な症状が見られないため診断も難しく、危篤状態になって初めてわかる怖い病気です。</p> <p>死亡率5%、後遺症の残る率は20%といわれています。</p> <p>この病気の原因とされるインフルエンザ菌b型（ヒブ）はすでにワクチンができ、世界保健機構は1998年に世界中の全ての国々に対して、乳幼児へのヒブワクチン無料接種を推奨しています。日本では2008年12月によりやく接種できるようになりましたが、任意接種のため4回接種で約3万円もかかります。旧安土町議会では請願が全員一致で採択され、平成21年度から一部公費助成が実現されましたが、合併時の調整で廃止となりました。細菌性髄膜炎から子どもを守るため、近江八幡市で公費助成をぜひ実現されることを切に願うものです。</p> <p>【請願項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ヒブワクチンの予防接種について、市独自の助成制度の創設。 2 ヒブワクチンを定期接種対象に位置づけるよう国に働きかけること。 		
紹 介 議 員	川崎 益弘、小川 廣司		